

東大精研会 ビジネス研究会 開催のご案内

12月7日(火) 15:30-17:30 オンライン開催 (Webex)

<https://utelecon.webex.com/utelecon-jp/j.php?MTID=m81e3d05e2e597336e71b6be5da08e879>

「ポストコロナ社会の未来構想」 ～教育・研究の取り組みポストコロナ社会に向けた研究活動～

15:30-15:50

① ポストコロナ社会にむけた学術戦略室の取り組み

東京大学大学院工学系研究科 学術戦略室 教授 小関泰之さま

学術戦略室では、コロナ禍において、ポストコロナ社会に向けた研究課題、教育方法や人材育成・働き方・未来社会ビジョンなどについて幅広く意見やアイデアを募集し、支援してきた。本講演では学術戦略室の取り組みと支援を行った例について紹介する。



15:50-16:10

② 新型コロナウイルスの下水疫学調査手法の開発

東京大学大学院工学系研究科 学術戦略室 教授 片山浩之さま

新型コロナウイルスの流行状況を把握するため、下水中に含まれるウイルス遺伝子の調査が有用であり、そのための測定法の開発を行った。



16:10-16:40

株式会社東京精密 計測社 技師長 丸山聡さま

工業会と産官学連携 ～標準化と技術力向上～

『測れないものは作れない』とするコンセプトをもとに事業展開している日本精密測定機器工業会の産官学に関連する取り組みと、当工業会加盟企業が参加しているコンソーシアムの活動をご紹介します。



16:50-17:30

東京理科大学経営学研究科 技術経営専攻 教授 若林秀樹さま

半導体 産業の米から社会の米へ～

日本の競争力回復、最後で最大のチャンス

半導体産業は、シリコンサイクルの中、成長、産業のコメから社会のコメへ。2022年は市況一服可能性でも、逆転好機。デジタル日本列島改造で半導体の初期需要。米中摩擦/コロナ禍で世界のサプライチェーン激変。中台モノづくり一極集中から米期待に日本は応え棲み分け、R&Dとモノづくりの一翼を担う。



* 学生のみなさんの聴講も歓迎いたします *

● オンライン情報説明会 18:00-20:00

第一線で活躍されている企業の方と学生のみなさんの交流を目的として実施します。

参加には申込が必要です。詳細は情報説明会の案内をご確認ください。



東大精研会では、学科OB・企業会員・教員・学生のみなさんが交流をはかり親睦を深めるイベントを定期的で開催しています。ぜひご参加ください。